

2018年度（平成30年度）
社会福祉法人 江刺保育園
事業計画

2018 年度（平成 30 年度）本部事業計画

平成 30 年度 本部事業計画(案)について

1. 江刺保育園として保育理念に則った子ども達の成長を支える保育事業を継続する。
2. 施設を利用していない保護者、子育て中の保護者のための子育て支援事業を継続運営する。
3. 社会福祉貢献活動担当者を配置し、活動を継続、実施する。
4. 地域社会、並びに小学校、中学校、高等学校、その他の近隣施設及び地域と連携協力しながら社会に貢献する活動を行うことに努力する。
5. 今後 15 年以内に園舎改築の実施のため資金の準備、土地の選定、その他、検討を行う。
6. 園舎老朽化に伴う修繕を行う。（今年度は大きな修繕の予定なし。）
7. 社会福祉法人としての適正な運営を行う。
定例評議員会 1 回、理事会年 4 回、監事監査年 4 回、行い適正な予算執行に努力する。
8. 理事長は年 4 回以上、理事会及び江刺保育園の経営及び運営状況を確認し、必要な事柄について理事会に報告する。
9. 江刺保育園は毎月 1 回佐藤晃信税理士事務所に施設及び本部会計の任意監査を依頼し、適正な会計処理に努力する。
10. 岩手県社会福祉協議会保育協議会、及び胆江地区保育協議会の活動に参加協力する。
園長は岩手県社会協議会・保育協議会顧問としてのその役割を果たす。
11. 保育に関する社会の動向、必要な情報、中長期の的確な計画策定のため、関連する研修に積極的に参加する。
12. 江刺保育園職員並びに有期雇用職員（臨時職員、非常勤職員）の処遇改善を行う。
13. 処遇改善Ⅱの制度を申請する。

江刺保育園 本部活動予定（日程については変更することもある）

- 4月 2日(月) 辞令交付式午後2時より 理事長より辞令が交付される。
- 4月 4日(水) 入園式午前10時より
- 5月 監事監査(佐藤晃信税理士事務所による決算の任意監査終了後に行う。)
平成29年度1月から3月までの出納監査
平成29年度の本部、施設の出納決算、運営状況などの監査を実施
- 5月 第1回理事会
平成29年度法人本部及び施設事業報告
平成29年度法人本部会計決算の認定について
平成29年度施設会計決算の認定について
平成30年度施設会計第1回補正について
その他
- 6月 定例評議員会(決算理事会終了から14日以上後に開催)
平成29年度事業報告の承認
平成29年度決算の承認
その他
- 7月 監事監査 平成30年度4月から6月までの出納監査
- 8月 県、奥州市指導監査(予定)
施設は広域振興局、本部は奥州市による監査
- 9月 第2回理事会
平成30年度本部及び施設会計の中間補正について
平成30年度本部及び施設の運営状況等の報告について
その他
- 10月 監事監査 7月から9月までの出納監査
- 1月 第3回理事会
平成30年度本部及び施設会計の中間補正について
平成30年度本部及び施設の運営状況等の報告について
新年交賀会 職員との交流
- 2月 監事監査 10月から12月までの出納監査
- 3月 第4回理事会
平成30年度本部施設会計補正について
平成31年度法人本部、及び施設事業計画案について
平成31年度法人本部、及び施設予算案について
その他
- 3月23日(土) 卒園式(予定)
- 4月 4日(木) 入園式(予定)

奥州市の住所が変更になり区が無くなりますのでこの件について定時評議員会で定款変更を承認申請しなければなりません。「奥州市江刺区」が「奥州市江刺」となります。

今年度で理事の任期が満了になります。

佐藤晃信税理士事務所による固定資産現物確認は3月に実施する。

処遇改善Ⅱについて

平成 29 年度はこの制度へ申請は見送りました。江刺保育園は職員経験年数が 17 年となっていて年間 550 万円以上のチーム保育加算を受けています。処遇改善Ⅰ、チーム保育加算、を合わせると年間で約 900 万円の処遇改善が実施されています。これに処遇改善Ⅱを加えると 1200 万円を超える処遇改善となり、職員一人当たり単純に計算すれば約 2 ヶ月分超える処遇改善になります。今年度は研修の要件は課さないという通達があり、さらに処遇改善Ⅱを実施する職員数は、規定の計算による数より多く職員を改善できる制度に代わっています。また処遇改善Ⅱを申請すればキャリアアップを実施していることが認められます。

従って江刺保育園では平成 30 年度は職員体制をキャリアアップの制度に即した保育リーダー等を配置し処遇改善Ⅱを申請します。

2018年度（平成30年度）江刺保育園施設事業計画

I. 江刺保育の保育理念、保育目標、保育方針

保育理念 「人に愛され、人を愛する子ども」

保育理念は江刺保育園の保育を行う上で、すべての根幹になっている言葉です。「愛」ということは、許すこと、存在を喜ぶこと、心を共有すること、希望を持つこと、その人のありのままを受容し、これからの人生をより良いものになるよう共に生きようとする行為です。同時に自分自身に対しても同じ心を持ち、自分自身の生きている姿を示しながら、子どもたちの成長を支え行くという江刺保育園の意思を示しています。

保育目標 子どもが生きる力を獲得しその過程を支える。

保育の働きは「生きる」ことを伝え、それを支えることです。健康であること、食事ができること、排せつが自立すること、言葉を獲得すること、自分の意思を伝えること、表現すること、人との関わり合いができること、命を愛すること、すべてが「生きる」ということです。子どもたちの持っている生命力を妨げることなく、良き成長ができるように支えることが江刺保育園の目標です。

保育方針

保育目標を達成するために、保育の内容を次の項目のように細分し、保育の方針を定める。個々の方針の中に含まれると思われる対応を示しています。

- | | |
|-------------|---|
| 健康 | 規則正しい生活習慣を身につける。また、正しい食事をして健康な体をつくる。
(衛生、健康診断、身体測定、食育、日常の遊び、3B体操、運動会、等) |
| 人間関係 | 家族との関係を基礎として、遊びや交流により、多くの人との関わりを持つ。
(日常の遊び、異年齢の交流会、施設訪問、社会見学、運動会、英語、等) |
| 環境 | 安全で自由に行動できる場所を提供する。
(園舎、園庭、遊具、保育室、等) |
| 言葉 | 言葉を理解し、他者の思いを理解する。
(日常の生活会話と遊び、絵本、紙芝居の読み聞かせ、詩吟、英語、等) |
| 表現 | 自分の意思を伝える。今の自分自身の姿を遊びや作品や演技を通して表現する。
(日常の生活会話と遊び、発表会、詩吟、等) |
| 命の尊厳 | すべての命の大切さを理解し、思いやりの心を持つ。
(日常の生活、異年齢の交流、畑作り、行事、等) |
| 情緒 | 生まれてきたことを喜び、安心して毎日を過ごす。
(保育全般) |

2. 取り組む事業

1. 地域との繋がりを継続し、保育に関して、積極的に地域社会に貢献する。
老人クラブ、地域の自治会、等と協力関係を継続する。地域の行事等に協力依頼がある時にはできうる限り協力する。また、施設での夕涼み会、文化祭、交流会、等は地域に積極的に参加を呼びかける。
2. 地域に江刺保育園の取組を積極的に発信する。
ホームページの発信、子育てに関する文書の発信を行う。
3. 他施設、関係機関との連携を強化する。
岩手県保育協議会、胆江地区保育協議会の事業、研修に参加協力する。近隣の保育施設、小学校、中学校、高等学校、その他の施設と連携し協力関係を維持する。
4. 大学、保育士養成校、高等学校、中学校、個人等の体験保育、保育実習の依頼が有れば受け入れる。
5. 「障がい」のある子どもたちを受け入れる。(平成30年度1名が認定されている。)
6. 病後児保育(体調不良児)を実施する。
7. 幼保小運営協議会に参加する。
参加施設は岩谷堂小学校、岩谷堂幼稚園、八日市幼稚園、聖愛ベビーホーム、江刺保育園、公開授業及び公開保育の参加と実施、年2回運営協議会により各施設の情報を共有、小学校への就学児童の情報を提供。卒園児の授業参観、幼児児童の交流、等に参加協力する
8. 保護者会と協力、連携し、子どもたちの成長を支える。
9. 保護者会役員会(年5回)を開催し保護者の意見を取り入れながら行事を計画実施する。
10. 定期的なヒヤリハットの報告、緊急時の救命対応訓練等、安全保育をさらに深める。
11. 保育計画、保育記録、また送迎時間の管理等にITを活用する。
12. 職員の保育能力の向上のために園外で行われる研修に職員を参加させる。
13. 保育資質向上のため職員研修を実施する。
14. 保育を実践の中で個々の職員が目標を設定し、その目標を共有しながら保育連携を密にする。
そのための全員が参加する研修を行い、個々の職員の保育能力の向上に努める。
15. 保育計画、保健衛生計画、食育計画、避難防災計画、その他保育に必要な計画書、マニュアル等を作成する。
16. 全職体制を新たに定める。保育担当、食育担当、衛生管理担当、子育て支援担当、社会貢献担当、を明確にする。

主な事業

延長保育事業	1時間の延長保育 18:30~19:30
障害児保育事業	認定された児童(自閉症児1名)、軽度障害児1名、を受け入れる。他障害関連施設との連携、健康増進課等の行政と連携し子ども達の生活を支える。
地域活動	地域の参加と協力、老人クラブと連携協力する。
交流事業	社会見学、老人クラブとの交流、岩谷堂小学校、江刺区内中学校、岩谷堂高等学校と交流する。

食育事業	クッキング、栄養指導、食育絵本の読み聞かせ、等を実施する。
運動遊び	プール遊び、ソリ遠足、春と秋の遠足、等を実施する。 高槻譲理事の指導による体育遊び（4,5歳児対象）
3B体操	3B体操を実施し、それを参考にし、各クラスで工夫して取り組む。
言葉の保育	詩吟のお稽古（子ども達4回）、絵本の読み聞かせ
保育体験事業	中学校保育体験事業、岩谷堂高等学校、その他希望者等保育体験の受入。
保育実習	大学、保育士養成校の保育実習を受け入れる。
相談事業	クラス個別懇談会の実施、肥満相談、アレルギー、子育て等、相談を実施。
幼保小連絡協議会	江刺岩谷堂学区内の幼稚園、保育園、小学校との連携し協力する。
外部研修	胆江地区保育協議会主催の研修に参加、 保育協議会主催の研修に参加、その他必要な研修に参加する。
内部研修	職員会議や全体会議により児童の対応や課題を共有する。
保護者会主催行事	親子遠足、夕涼み会、運動会、文化祭等を企画実施する。
キリスト教研修	クリスマスページェントを行うためにキリスト教の研修を行う。

3. 開設予定日数

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
日数	24	24	26	25	26	23	26	24	23	23	23	25	294

4. 保育予定児童数(平成30年4月1日 現在)

		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
男	継続		3	8	5	7	12	35
	新規	6	2		1		1	10
	計	6	5	8	6	7	13	45
女	継続		6	8	6	10		34
	新規	3	4	1	2			10
	計	3	10	9	8	10	4	44
合計		9	15	17	14	17	17	89

新規入園児 20名

5. 職員体制及びクラス編成

保育施設管理、事務業務

園長

主任保育士

事務担当者

保育担当（保育士）

年齢別保育リーダー（幼児組リーダー、乳児組リーダー）

年齢別保育副リーダー

保育担当者

調理業務（栄養士、調理師）

給食、食育担当リーダー

給食、食育担当副リーダー

保健衛生（看護師）

保健衛生担当リーダー

子育て支援業務

子育て支援担当リーダー

子育て支援担当副リーダー

社会貢献事業

社会貢献事業担当リーダー

職員編成						
事務室	管理、経理、運営、等		3名	遠藤清賢(園長) 菊池道世(主任保育士)、 伊藤さちい(事務担当)		
保育士(正職)	年齢別保育リーダー(幼児組リーダー)		3名	佐藤啓子、高橋幸恵 菅原幸恵、		
	年齢別保育リーダー(乳児組リーダー)		2名	佐藤有子、瀬川由紀		
保育士(臨時)	年齢別保育副リーダー(幼児組リーダー)		2名	青木蘭奈、菊池和雅、		
	年齢別保育副リーダー(乳児組リーダー)		2名	阿部さやか、高橋千尋、		
看護師(臨時)	保健衛生担当リーダー		1名	和賀寿美恵		
栄養士、調理士	給食、食育担当リーダー		1名	菊池千枝(栄養士)		
	給食、食育担当副リーダー		1名	細川由紀枝(調理士・栄養士)		
	調理士		1名	佐藤英子(調理士)		
子育て支援	子育て支援担当リーダー		1名	伊藤和枝		
	子育て支援担当副リーダー		1名	小野寺奈保子(非常勤)		
社会福祉貢献活動	社会貢献事業担当リーダー		1名	千葉丈(臨時)		
非常勤保育士	保育士補助		5名	及川千明、千葉加奈子、菊池かよ、 菅原裕美子、後藤芳江、		
保育補助職員	保育補助		1名	三宮真貴(非常勤)		
非常勤補助	環境整備(保育補助、清掃等)		1名	大久保敦子(非常勤)		
職員総数			26名			
クラス編成						
クラス名	年齢	男	女	計	担当者	
ひよこ組	0歳	6	3	9	20	主：瀬川由紀、副：高橋千尋 及川千明、菅原裕美子、後藤芳江 補助：三宮真貴
	1歳	4	7	11		
ちゅうりっぷ	1歳	1	3	4	21	主：佐藤有子、副：阿部さやか 千葉加奈子、菊池かよ
	2歳	8	9	17		
たんぼぼ	3歳	6	8	14	主：佐藤啓子、副：菊池和雅	
さくら	4歳	7	10	17	主：高橋ゆきえ、副：青木蘭奈(障害児)	

すみれ	5歳	13	4	17	主：菅原幸恵
給食	栄養士 調理師				主：菊池千枝、副：細川由紀枝 調理：佐藤英子
子育て支援	会場：友遊広場及び江刺教会				主：伊藤和枝、副：小野寺奈保子
社会福祉貢献	かえるクラブ、おひさま				主：千葉丈
環境整備	掃除、保育補助				大久保敦子
事務室					園長：遠藤清賢、主任：菊池道世 事務担当：伊藤さちい

職員総数 27 名

松本美香(栄養士)産休及び育児休暇（一年間）取得

6. 給食業務

松本美香栄養士1年間育児休暇取得により佐藤英子調理師を非常勤調理師として採用

平成 30 年度

	3歳未満			3歳以上		
	カロリー	タンパク質	脂肪	カロリー	タンパク質	脂肪
江刺保育園 基準値	440kcal	14～22mg	10～15mg	360kcal	15～25mg	12～18mg
	カルシウム	鉄	ビタミンA	カルシウム	鉄	ビタミンA
	200 mg～	2.2～11.0mg	180～290μg	245～ mg	2.2～11mg	200～300μg
	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC
	0.24～ mg	0.26～mg	17～ mg	0.28～ mg	0.33～ mg	17～ mg
	食物繊維総量	食塩相当量		食物繊維総量	食塩相当量	
	4.4～ g	1.6 g 迄		5.2～ g	1.8 g 迄	
	完全給食			副食のみ給食		

アレルギー児童に対する食事を対応（卵類アレルギーなど）

身体測定を実施し、成長曲線を記録する。

アレルギーや肥満等があったばあい家族との面談が必要な場合は、調理担当者だけではなくクラス担任が主となって対応する。

肥満や痩せの対応は市の保健婦と連携をとり対応する。

現時点でアレルギー対応の児童はいない。

平成 30 年度の食育活動

松本美香栄養士が育児休暇により調理職員が行っていた「食育絵本の読み聞かせ」、「食育体操」は今年度実施しない。

「栄養指導」、「クッキング」はクラスとの連携により継続して実施する。

7. 年間行事計画

月	行 事
4月	入園式 保護者会総会 新入園児歓迎会 交通安全教室 お花見遠足 園児健康診断
5月	創立記念日 詩吟のお稽古 さつま芋の苗植え 高校生との交流会、 男石お祭り出発式参加協力(4日)
6月	保育参観 プール開き 歯科検診 岩小運動会参加 親子遠足
7月	七夕祝会 夕涼み会 クラス懇談(ひよこ)
8月	すいか割大会 クラス懇談(ちゅうりっぷ)
9月	大運動会 歯科検診 火災地震避難訓練 クラス懇談(たんぽぽ)
10月	秋の遠足 さつま芋堀 詩吟のお稽古 文化祭 交通安全教室
11月	詩吟発表 園児健康診断 七五三祝い クラス懇談会(さくら) 祖父母参観 歯科検診
12月	栄養指導 クリスマス発表会 教会訪問
1月	男石老人クラブ交流会 歩行訓練 そり遠足 お店屋さんごっこ
2月	豆まき 記念撮影 クラス懇談会(すみれ)
3月	ひな祭り誕生会 お別れ会 一日入園 園舎清掃 修了式 卒園式

その他 年度前半：家庭訪問(4月～5月)

毎月の取り組み：避難訓練、身体測定、お誕生祝会、手作り弁当日、移動図書館、
食育絵本読み聞かせ、クッキング、栄養指導、食育体操、食育だよりの発行
年1～2回 児童に向け看護師による手洗い講座、健康予防に関する講座
保険だよりの発行

8. その他の活動

ホームページを作成発信する。

地域との交流保育

他施設との交流(お年寄りの施設等)

男石お祭り出発式参加5歳児(5月4日)

畑での野菜作り

江刺教会でのクリスマス礼拝参加と聖誕劇

餅つき大会(お正月)、水木団子飾り(男石老人クラブの協力を得る。)

人形劇鑑賞 お話しキャラバン「すくすく」の公演

講師による保育

運動遊び(年4回)、ソリの遠足、鉄棒、マット運動、平均台、等 講師 高槻譲理事

詩吟のお稽古(4歳、5歳児年お稽古4回とささらホールでの発表)

講師 高橋樸理事長、高橋君子氏 演題：「うさぎとかめ」「雨にも負けず」

3B体操(毎月1回) 講師 小島洋子氏

クリスマスのお話(11月3回) 邑原宗男江刺教会牧師

中学校、高等学校との交流

中学生、高校生の保育体験受入と交流

花植え交流会、保育園行事へのボランティア、体験保育の受け入れ、その他の交流

幼小保交流会(岩谷堂小学校学区の幼稚園、保育園との交流)

岩谷堂小学校授業参観、岩小運動会参加、1年生学習発表、岩谷堂小学校おもちゃランド参加
幼小保連絡協議会に参加

9. 園内、園外研修

研修計画

江刺保育園の全ての職員がさらに資質を高め、自己啓発できるように研修する機会を設ける。
全体研修は全ての江刺保育園職員が参加する。個別研修は各自の希望により参加できる。そのための時間を義務免除とし、遠方での研修については必要な交通費は施設が負担する。

職員全体研修の計画

(保育終了後、全職員参加の研修を行う。19:00~21:00 時間外で研修する。年4回)

各職員が保育指針に関連する保育について数値での目標を設定する。この研修は個人の目標の達成やよい成果を求めることよりも、各自の目標を職員全体で共有し、それぞれの働きをお互いに協力支え合い、保育の連携を深めることに重点を置いた研修である。数値目標は各個人が現実的に達成可能な目標であり、数値目標なのでより具体的な対応を行うことが求めている。

- 保育指針に関連する保育の対応に於いて、各自が自由に数値目標を設定し、その目標を全体会議に於いて協議し発表する。
- 年度途中に発表した目標についてその経過を全体会議に於いて発表する。設定した目標が容易に達成できた者はさらに目標の数値を高め、設定し目標が達成困難な場合は数値を緩和する。
- 年度末に、設定した目標を行ったことについてその感想や過程や対応、又成果について自己評価し全体に発表する。
- **保育についての研修(より良い保育を行うための研修)(講師:園長)** 非認知的能力を高めるための保育について研修する。とくに「アタッチメント」についてその理論を深め実際の保育に活かす研修を行う。

- (1) クリスマスページェント実施に向けての研修
- (2) 新保指針の研修(保育内容について深める)
- (3) 保育指針に基づいた保育計画作成について 月案、週案の作成、経過記録
- (4) 0歳児~5歳児の年齢別の保育対応について研修を行う。(キャリアアップ研修)
- (5) 保育技術・教材の研修

自主研修 子どものケース検討、障害児、子どもの食事、健康、家族支援、

園内研修 全体研修の実施(年3~4回)

保育に関するセミナーの実施

各自目標設定し全員で共有する。年度途中で報告年度末に自己評価を行う。

保育実践研修（キャリアアップ研修）

事故防止委員会の報告及び検討会

その他の研修

個別に各職員が希望する研修（岩手県保育協議会、胆江地区保育協議会、奥州保健所、その他施設及び民間事業者が主催する研修）に参加する。

胆江地区保育協議会での研修内容

手作りおもちゃ研修、わらべうた研修、発達支援研修、0,1歳児研修、2歳児研修、3歳児研修、4歳児研修、5歳児研修、療育研修、子育て支援研修、主任保育士研修、栄養士、調理師研修、看護師研修、全体講演会、親睦会、等

保育研究発表会（胆江地区、岩手県）

保育研究大会に職員を参加させ、その内容を報告する。

社会福祉法人適正化セミナー

外部監査を依頼している佐藤晃信税理士事務所が主催する社会福祉法人適正化セミナーに参加する。セミナーの内容は施設運営経理について、社会福祉の現状について、国からの社会福祉法人に関連する通達に関連した項目についての説明会、分析等、保育業界の動向について研修する。

幼小保連携のための研修

岩谷堂小学校と同一学区内の幼稚園、保育園、認定こども園が協力し、連携のための連絡協議会を組織し、その中で研修も企画計画する。運動会等大きな行事の交流、授業参観、保育参観、小学生との交流、保育や授業に対する意見交換及び研究会を実施し、安心して小学生を送ることができるように子どもたちを支えるための取り組みと研修をおこなう。就学児クラス担任が担当する。協議会の内容は職員会議に於いて周知する。

施設長研修：遠藤清賢、主任研修及び会計経理研修：菊池道世、保育事務及び会計経理研修：伊藤さちい、年齢別保育研修：各クラス担当者、給食関係：菊池千枝、松本美香、細川由紀枝、子育て支援：伊藤和枝、小野寺奈保子、看護師：和賀寿美恵、社会福祉貢献活動関連研修：千葉丈

この他の非常勤・臨時職員も本人が希望する研修に参加できる。この他、胆江地区保育協議会江刺区研修部会活動に参加、岩手県、社会福祉協議会、その他民間主催の研修に参加する。

10. 安全保育

- (1) **事故防止委員会の設置**
保育士、看護師、栄養士による委員会を組織し、報告された事故の事例について分析、改善策、その件についての周知する委員会を設置する。平成28年度より継続
- (2) ヒヤリハットの実施 毎月第4週の職員会議にて報告協議
- (3) 交通安全訓練 市の交通指導員により交通安全について指導していただく。年2回
- (4) 防災避難訓練 毎月1回火災・消火・避難訓練。地震、土砂災害を想定した避難訓練
 年1回消防署員による消化実演、防火意識の指導訓練、**県防災情報を随時確認**
- (5) 健康管理 児童健康診断 内科、歯科、それぞれ年2回、
 (内科：菊池内科クリニック、歯科：綾野歯科)
 職員 年1回の健康診断、成人病検診、インフルエンザ予防接種
 (江刺病院、菊池内科クリニック)
- (6) 環境安全 毎月園内の環境の点検を行う。その結果を職員会議で報告する。
 毎月1回ヒヤリハット
- (7) 衛生管理 流水式洗浄除菌水生成装置を活用。乳児クラス職員、調理職員の検便(毎月)、
 永薬品工業の給食室衛生管理の業務委託(毎月)。
 各クラスに嘔吐、汚物処理用具を常設する。

保育安全委員会を継続

保育上の事故、ヒヤリハット、保育環境の安全点検、等について職員会議で発表された事例について、その中でより重要な安全上の事例を精査し、その結果を職員全体会議に於いて発表、協議し保育の安全向上に努める。保育安全委員会は保育業務職員、調理業務職員、看護業務職員、で構成し、3カ月に1回、年4回を定例とする。必要な場合は随時行うこととする。

2018年度（平成30年度）キャリアアップ研修計画について

1. 保育担当リーダーA職員 2名

以下のテーマを研修 研修のテーマ設定と発題（全体会議で発題、協議）

研修のテーマは日常保育に関するテーマ

「食事について～完食、好き嫌いの対応～」

「抱っこについて～その具体的な対応～」

2. 保育担当リーダーA（I）職員 3名

以下のテーマを研修 研修のテーマの発題（全体会議で研修、発表）

歌、手遊び、リズム、制作、その他等の研修、新しいものの紹介、実践指導、資料配布

3. 保育担当副リーダーB職員 3名

以下の保育実践に関するテーマを研修 保育の中での報告（職員会議、全体会議で発表）

絵本の読み聞かせ（絵本の紹介、等）、 運動（遊びの中での体力作り）、

玩具の紹介（乳児用、幼児用、等）

生活支援 保育の工夫（オムツ交換、オムツ外し、食事の援助、等の工夫）

4. 調理・食育担当リーダーA（I） 2名

昨年度からの継続。栄養指導、クッキングの計画と実施、

他施設との連携（試食会、給食部会の参加、等）

保育と連携し食育を実践する。

5. 保健衛生担当リーダーA（I） 1名

昨年度からの継続 保健指導（歯磨き手洗い指導、命のお話し等、保健だよりの作成）、

他機関との連携、保育と連携し健康の維持、病気の予防を実践する。

外部の研修に参加

6. 社会貢献事業担当リーダーA（I） 1名

昨年度からの継続 小学校との連携の構築及び情報の共有、保育園児との交流

定期的なお知らせ（事業内容等の様子）の作成、

7. 事務職担当リーダーA（I） 1名

昨年度からの継続 補助事業行政側提出文書の作成、委託費請求等

公定価格の分析、及び委託費計算表の作成に関して研修する。

2018年度（平成30年度）子育て支援事業計画

会場 友遊広場、江刺教会の2カ所 活動の内容によって会場を決めている。

担当 伊藤和枝（子育て支援事業主任）、小野寺奈保子

子育て支援事業の内容

地域社会の施設を利用していない子育て家族のための、子育て全般について支援すること
子育てのための悩みや不安を傾聴する

子育ての楽しさを伝えること

子育て家族の交流や仲間作り、情報交換の場を提供すること

子育て家族に様々な体験の機会を提供すること

子育て家族に家族の人的交流の場を提供すること

ボランティアを受け入れること

保育セミナーを開催し、保育全般について基礎知識を広める。

市内の様々な福祉資源を紹介する。（保健師、歯科衛生士、助産師、ハローワーク、その他）

週5日（月～金） 10時～15時、祝祭日、日曜日、土曜日は休み、

利用料

無料（ただし、オヤツ代、教材費は実費徴収）

受入対象者

概ね0歳から3歳までの施設を利用していない保護者とその児童（特に子どもに関しては年齢制限を設けていない）、地域住民の方々等、その他。ただし、児童だけを預かる一時預かり保育は行わない。

10時 受入開始

10時30分～15時 自由時間（相談に応じる。主に傾聴）
情報交換、交流事業
絵本、紙芝居、制作、サークル活動など
昼食一緒に頂く（利用者は持参）

サークル活動事業（外部講師による）

英語教室、リフレッシュ体操、わくわくおやつ、親子で音遊び、ベビーマッサージ、骨盤体験体操、手作りクラブ、クッキング、フリーマーケット（毎月開催）、誕生会（毎月）、ミニ遠足、等サークル活動の内容によって事前に予約申し込みが必要な物もある。

保育園行事との連携

3B体操、夕涼み会（7月）、運動会（9月）、文化祭（10月）、お店屋さんごっこ（2月）、人形劇観劇、プール遊び（プール開設日）、保育園体験（随時）、園庭解放（随時）
運動会は子育て支援利用者が参加できる内容の物を盛り込む。

保育セミナーを開催

毎月1回15～30分程度の園長による子育てに関する講義と質疑応答の時間

友遊広場案内、子育て支援文書の発行

広場案内は毎月1回300部、子育て支援文書は1回200部
江刺岩谷堂町内に配布

キリスト教「聖書のお話会」

毎月1回江刺教会邑原宗男牧師の聖書の講義を開催する。

園長の保育に関してのお話会

毎月1回園長から保育に関するセミナーを開催する。

2018 年度(平成 30 年度)社会福祉貢献活動計画

社会福祉貢献活動を実施する意義

平成 29 年度認可された定款第 3 条 2 項により社会福祉貢献活動を行う努力が求められたことにより実施に向け具体的に計画し実施することとする。現在江刺保育園として実施可能な事業として、民間及び公的な放課後児童クラブ等を利用できない小学生の受け入れ事業を実施した。

保育園の卒園児童の中に放課後児童クラブ等どこも利用していない児童がいて、彼らは放課後家族が帰宅するまでの 3~4 時間くらい一人で過ごしている児童、家族が病気などで自由に遊ぶことが出来ない児童であった。この事業によって子どもたちが、手作りのおやつを頂き、宿題をし、友達や保育園児と過ごす時間を持つことが出来るようになっていく。孤独の中で過ごすより、その日の出来事をお互いに報告し合い、担当保育者と交流している。この事業を行うことで子どもたちが少しでも一日を楽しく過ごし、有意義な時間を過ごすことを願っている。

孤独に過ごしている子どもたちの為に、この事業を行う意義が充分にあったと確信している。今後もこの事業を継続する。

将来的に少子化が進み、保育事業だけで施設運営が困難になる可能性があり、その対策として新しい保育事業以外の事業を行う基盤を準備し、将来に向けて安定的な施設運営を行う準備をすることもこの事業を行う目的でもある。

さらに余力があれば、孤独な生活をしている小学生に向けての食教育の実施と同時に、一人暮らしのお年寄りも利用できる「お年寄りと子どものための食堂」の開設のような事業も考えていきたい。

具体的な対応

利用料はなし。担当者 1 名を配置している。
ただしおやつ代として実費 100 円としている。

担当者は昨年度と同様とする。主に活動は午後になっている。

担当者は社会福祉貢献活動以外にも、地域社会や様々な施設との連携と協力のための江刺保育園の窓口になり事業展開の調整役を担う。(主なもの 幼小交流事業、地域交流事業、近隣施設との交流事業等)

保育園で大きな行事(運動会、夏祭り、文化祭)等を行う場合はボランティア受け入れ、ボランティア募集、チラシの作成、配布等も行う。

放課後児童受け入れについては小学校と充分に連携しながら事業を行う。

平成 30 年度の利用予定児童

1 年生 1 名、2 年生 2 名、4 年生 1 名、計 4 名
原則江刺保育園児に限り利用できる。